

GRIPS開発フォーラムセミナー

ガーナ国支援環境と日本の役割  
～ オールジャパンの援助計画への模索～

# ガーナ教育セクターにおける展 開： 援助環境の概要とJICA事業の推進

元JICA教育政策アドバイザー 松田徳子

2006年7月5日



*Kobokobo Primary School, Akuapim-North District*

# ガーナ教育セクターにおける展 開： 援助環境の概要とJICA事業の推進

---

## プレゼンテーションの骨子

1. 援助環境の概要
2. 日本の教育協力のあり方
3. All Japan的取り組みの例
4. 援助協調、All Japan推進の課題

## 1. 援助環境の概要 ～ 包括的なセクター開発計画

---

- ・教育戦略計画 (ESP) 2003-2015
  - a) 教育のアクセスの拡充
  - b) 教育の質の改善
  - c) マネージメントの効率化
  - d) 科学技術TVETの拡充
- ・教育改革白書 2004
  - a) 無料義務教育に幼稚園教育を含める
  - b) 高校教育期間の延長 (3年制 → 4年制)

## 援助環境の概要 ~ 手続きの調和化 (1) ~

### ・支援形態 (モダリティ)

|         | 一般財政支援 | セクター支援      |                |                |                          |             |              |
|---------|--------|-------------|----------------|----------------|--------------------------|-------------|--------------|
|         |        | 財政支援        |                | 技術協力           |                          |             |              |
|         |        | イヤー<br>マーク無 | イヤー<br>マーク付    | 調達法<br>適用      | 先方政府<br>メカニズム            | ドナー独自のメカニズム |              |
|         |        |             |                | 事業/調査/<br>コンサル | 事業/調査/<br>コンサル/<br>プログラム | プログラム       | プロジェクト       |
| 世銀      |        |             | 基礎/高等/<br>組織改革 |                |                          |             |              |
| DFID(蘭) |        | 準備中         |                |                |                          |             |              |
| EU      |        |             |                |                | M&E事業                    |             |              |
| USAID   |        |             |                |                | 基礎教育<br>(単発事業)           |             | 基礎教育         |
| UNICEF  |        |             |                |                | 基礎教育                     |             |              |
| UNESCO  |        |             |                |                | 基礎教育                     |             |              |
| フランス    |        |             |                |                |                          |             | フランス語<br>教育  |
| ADB     |        |             | 高校建設           |                |                          |             |              |
| 日本・JICA |        |             | (見返資金)         |                |                          |             | 理数科/<br>TVET |

## 1. 援助環境の概要 ~ 手続きの調和化 (2) ~

- ・セクター財政支援の資金拠出チャンネル  
(セクターコモンファンドなし)  
世銀: 教育省FPMU、GESのFC  
DFID: 教育省口座(政府)  
ADB: 教育省FPMU
- ・会計報告  
政府の会計制度による報告書  
個別ドナー向けの事業会計報告書
- ・会計監査  
政府の会計監査制度  
(セクタードナーによる議論には至っていない)

## 1. 援助環境の概要 ~ 手続きの調和化 (2) ~

### ・調達法

政府事業を中心に順次適用されている。  
バイ・ドナーの援助については、調達法の適用は強制されていなかった(2006年2月末現在)。

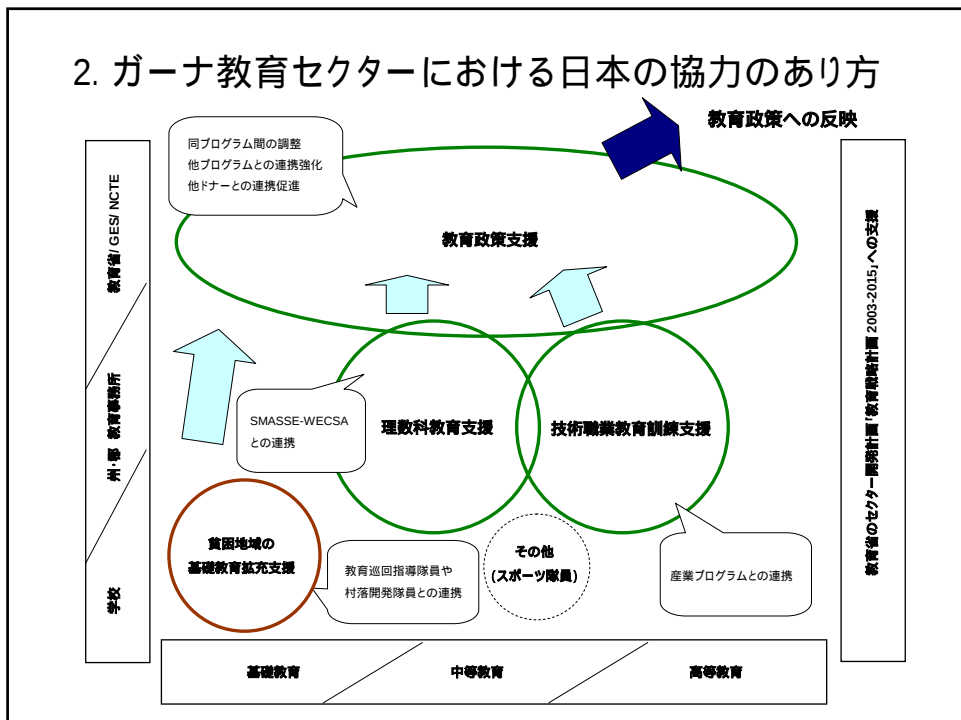
### ・モニタリング / 評価

教育省は、2004年度よりESPの進捗に係る  
合同年次モニタリング評価を実施している。

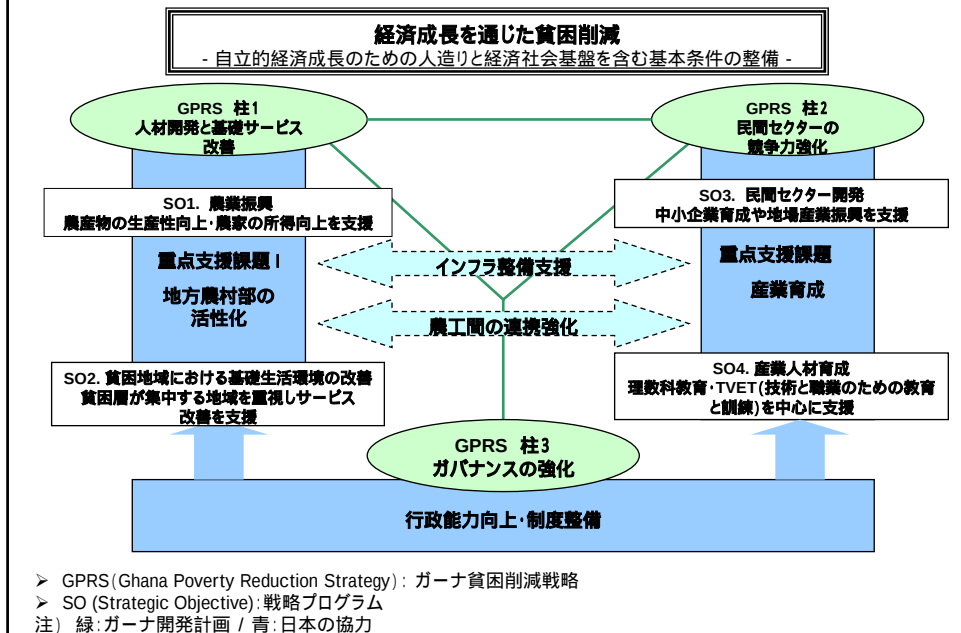
### ・ミッション派遣

世銀とADBが合同ミッションを派遣した例は  
あるが、特に議論されているわけではない。  
(Quiet Timesの周知も徹底されていない。)

## 2. ガーナ教育セクターにおける日本の協力のあり方



# 対ガーナ国別援助計画 協力図



## 2. 日本の協力のあり方 ～ 政策とのアライメント ～

- ・教育行政能力向上支援プロジェクト 2005-2008  
→ ESPに掲げられている郡教育計画策定支援
- ・現職教員研修支援プロジェクト 2005-2008  
→ 現職教員研修政策の全国展開支援
- ・技術教育制度化支援プロジェクト(準備中)  
→ TVET法案(国会審議中)の実施支援

### 3. 教育セクター支援における All Japan的取り組みの例

---

[JICAスキームの枠を超えて]

- ・プロジェクトと協力隊員派遣の有機的な連携
- ・教育政策アドバイザーと理数科隊員による合同調査

[組織の枠を超えて]

- ・STMプロジェクト 国内支援委員会
- ・見返資金とプロジェクトの連携
- ・草の根無償協力と協力隊員の連携

### 4. JICAの教育セクター支援事業から見る 援助協調、All Japan推進の課題 (1)

---

[政策へのアライメント]

- ・事業を先方政府の政策(教育省のプライオリティ)にアラインさせることは、C/P機関が予算・人員を確保するための必要条件ではあるが、十分条件ではないこと。
- ・JICAプロジェクトで構築したモデルが政策化され、全国展開。教育省の言い分は、ランニングコストは出せても、イニシャルコストは難しい。(見返資金、セクター財政支援のニーズ)

## 4. JICAの教育セクター支援事業から見る 援助協調、All Japan推進の課題 (2)

---

### [手続きの調和化]

- ・ミッションの数が多いドナーとして、世銀とJICAの名があげられることが少なくない。
- 日頃の人間関係、事業の効果などとのバランス
- 調査研究の現場へのフィードバック

## 4. JICAの教育セクター支援事業から見る 援助協調、All Japan推進の課題 (3)

---

### [他ドナーとの実質的な協調？]

- ・日本はドナーコミュニティの一員という立場をとりながらも、実際の支援形態はstand-aloneなものとなりがち。現場の担当者レベルでの工夫で対応できるのは、他ドナーとの情報共有(デマケを含む)レベルであり、制度上の制約から、協調介入にはなかなか至らない。

## 4. JICAの教育セクター支援事業から見る 援助協調、All Japan推進の課題 (4)

---

### [All Japanの推進]

- ・ JICAの案件は基本的に投入スキーム毎に自己完結する形で動いている中で、他との連携を推進するかどうかは、属人的な要素が大きいこと。
- ・ All Japanと言いながら、事業面での実質的な連携は外務省傘下の組織内と大学に限定されていること。  
(例: UNESCOのJapan Fundによる基礎教育現職教員研修支援事業との連携を図る余地は、ほとんど与えられていなかった)